

# 2017年3月期 第3四半期決算説明資料

---

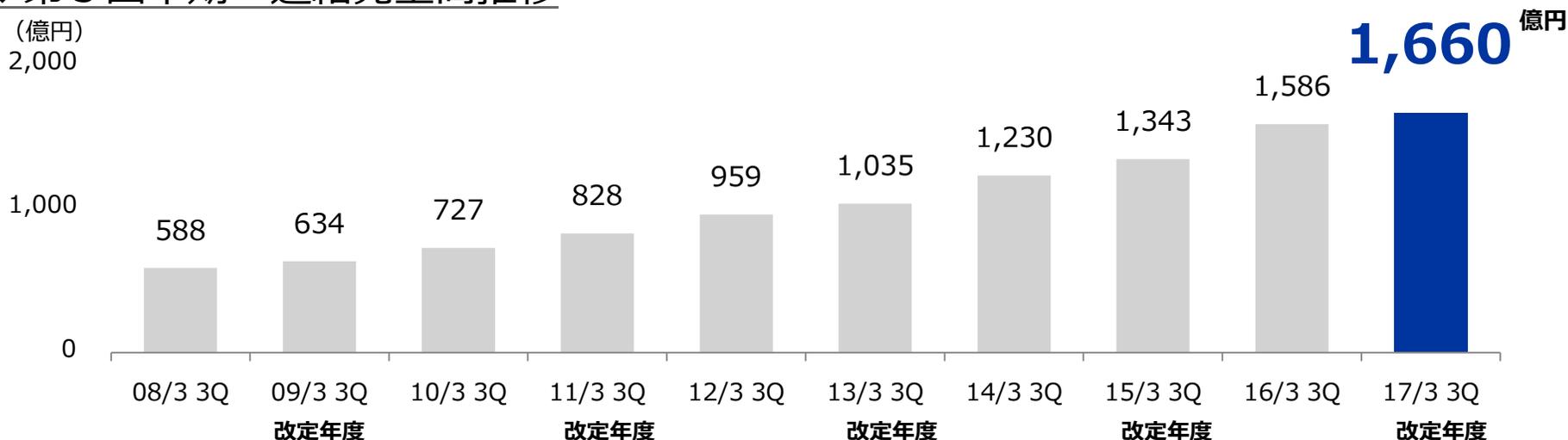
2017年1月31日

 日本調剤株式会社

(東証一部/証券コード 3341)

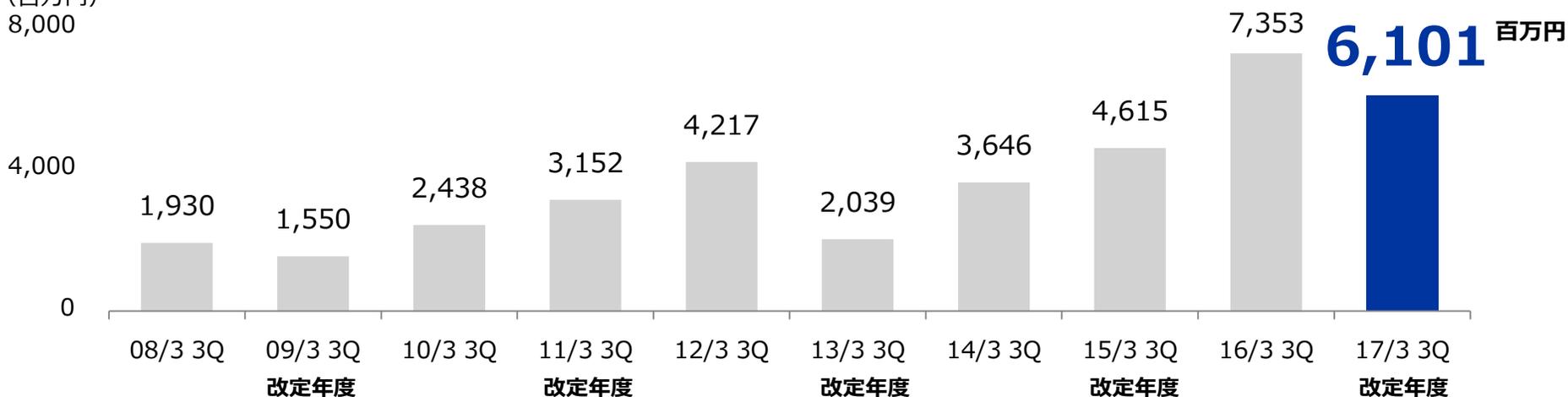
## ◆第3四半期 連結売上高推移

(億円)  
2,000



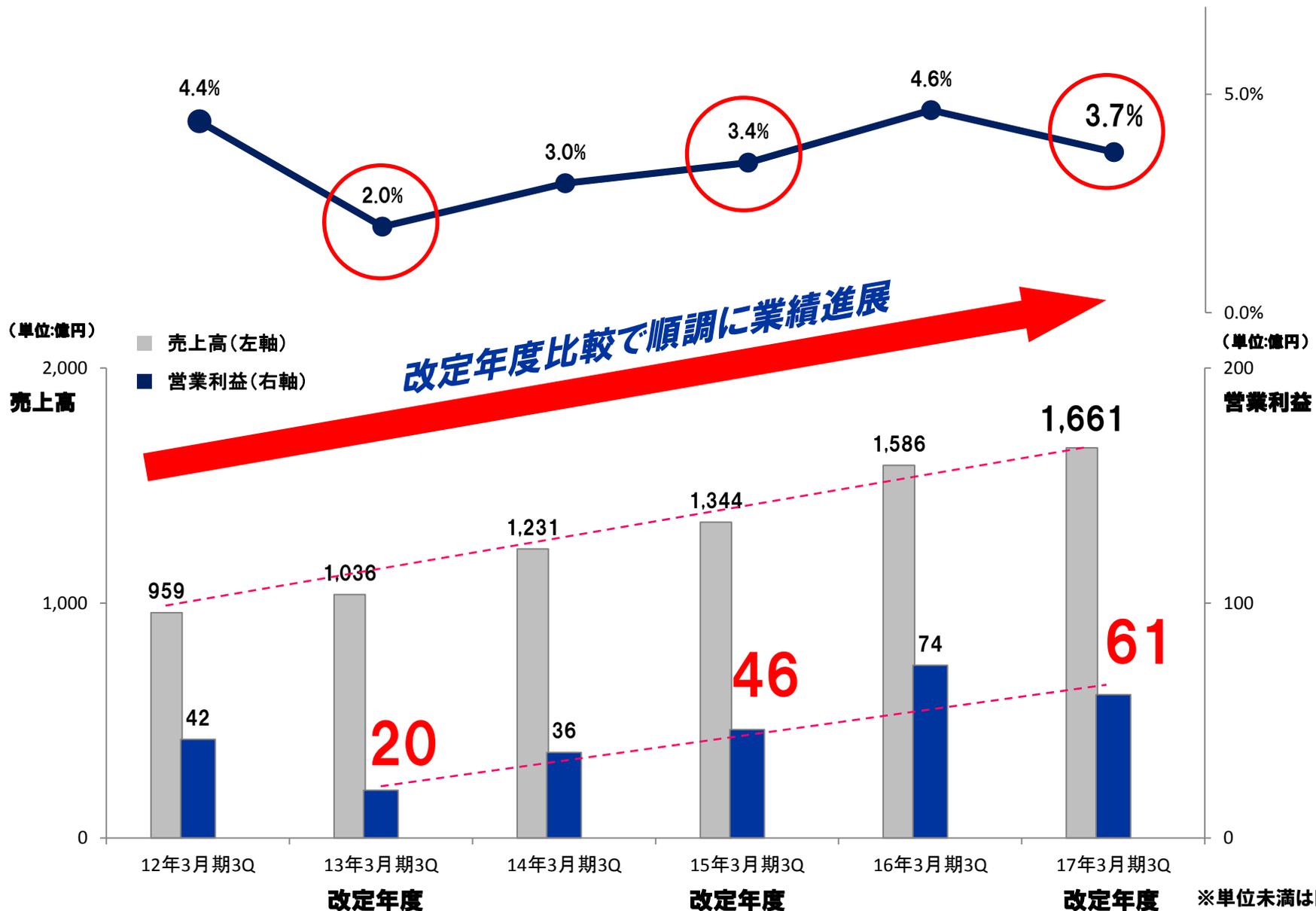
## ◆第3四半期 連結営業利益推移

(百万円)  
8,000



(単位：百万円)	14/4-14/12	15/4-15/12	16/4-16/12	対前年同期 増減額	同 増減率
売上高	134,386	158,645	<b>166,051</b>	7,405	4.7%
売上原価	111,065	130,386	<b>137,190</b>	6,804	5.2%
売上総利益	23,320	28,259	<b>28,860</b>	601	2.1%
販管費	18,705	20,905	<b>22,759</b>	1,853	8.9%
消費税等	7,166	8,571	<b>8,845</b>	273	3.2%
研究開発費	1,219	1,275	<b>1,581</b>	305	24.0%
営業利益	4,615	7,353	<b>6,101</b>	△1,252	△17.0%
対売上比 (%)	3.4%	4.6%	<b>3.7%</b>	—	—
経常利益	4,100	6,889	<b>5,773</b>	△1,115	△16.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,245	4,305	<b>3,307</b>	△998	△23.2%

※当社会計処理では控除対象外消費税等については販管費に計上しております



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	16/3末	16/12末	増減額
流動資産	84,838	<b>79,836</b>	△5,002
固定資産	72,770	<b>90,790</b>	18,019
有形固定資産	51,997	<b>63,366</b>	11,368
無形固定資産	10,122	<b>16,495</b>	6,372
投資その他	10,650	<b>10,928</b>	278
<b>資産合計</b>	157,609	<b>170,626</b>	13,016
流動負債	68,985	<b>72,074</b>	3,088
固定負債	56,151	<b>63,446</b>	7,295
<b>負債合計</b>	125,136	<b>135,521</b>	10,384
純資産合計	32,473	<b>35,104</b>	2,631
<b>自己資本</b>	32,473	<b>35,104</b>	2,631
自己資本比率	20.6%	20.6%	—

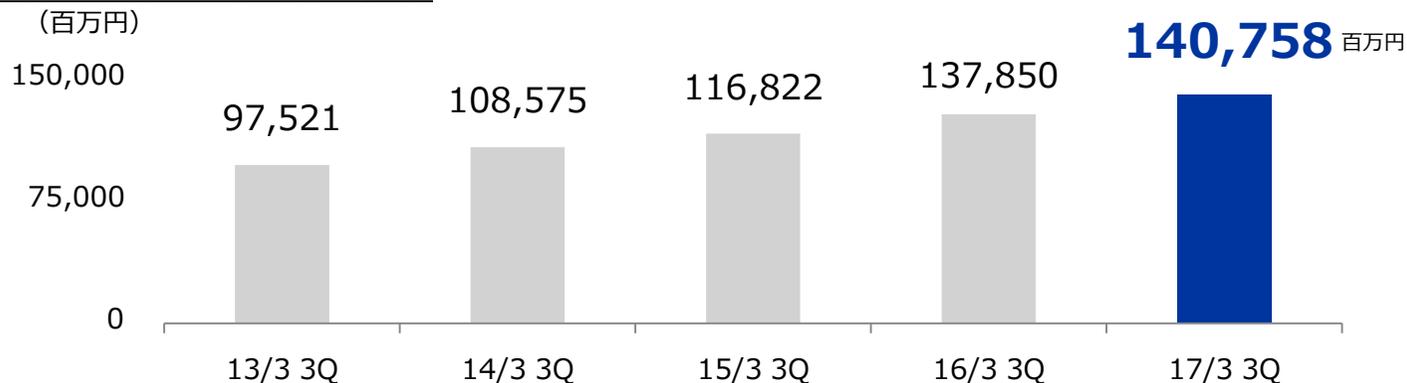
## 主な増減要因

- 【流動資産】
  - ・現金及び預金 △14,698
  - ・商品及び製品 7,483
- 【固定資産】
  - ・建設仮勘定 6,899
  - ・のれん 5,811
- 【流動負債】
  - ・短期借入金 5,600
  - ・1年内返済予定の長期借入金 6,479
- 【固定負債】
  - ・長期借入金 7,737
- 【純資産】
  - ・利益剰余金 2,494

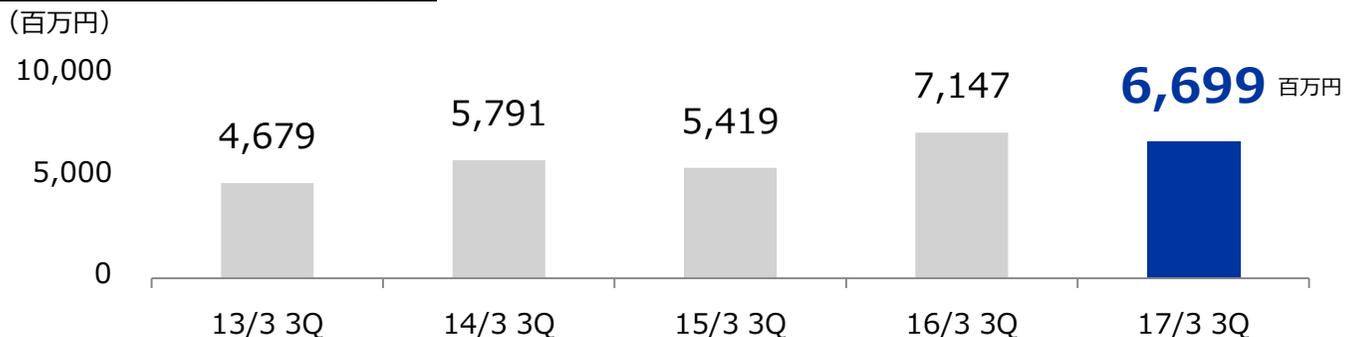
(単位：百万円)	14/4-14/12	15/4-15/12	16/4-16/12	増減額	増減率
売上高	116,822	137,850	<b>140,758</b>	2,908	2.1%
営業利益	5,419	7,147	<b>6,699</b>	△447	△6.3%
対売上比 (%)	4.6%	5.2%	4.8%	—	—

※セグメント間取引消去前

## ◆セグメント別売上高の推移



## ◆セグメント別営業利益の推移



## ◆日本調剤グループ出店期別 店舗調剤売上推移

	16/12末 店舗数	15/4-15/12 (百万円)	16/4-16/12 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
既 存 店 (~15/3)	492	133,474	<b>130,153</b>	△3,320	△2.5%
前 期 出 店 (15/4~16/3)	26	1,948	<b>5,065</b>	3,116	160.0%
今 期 出 店 (16/4~16/12)	34	—	<b>3,745</b>	3,745	—
そ の 他	—	897	<b>106</b>	△790	△88.1%
計	552	136,320	<b>139,070</b>	2,750	2.0%

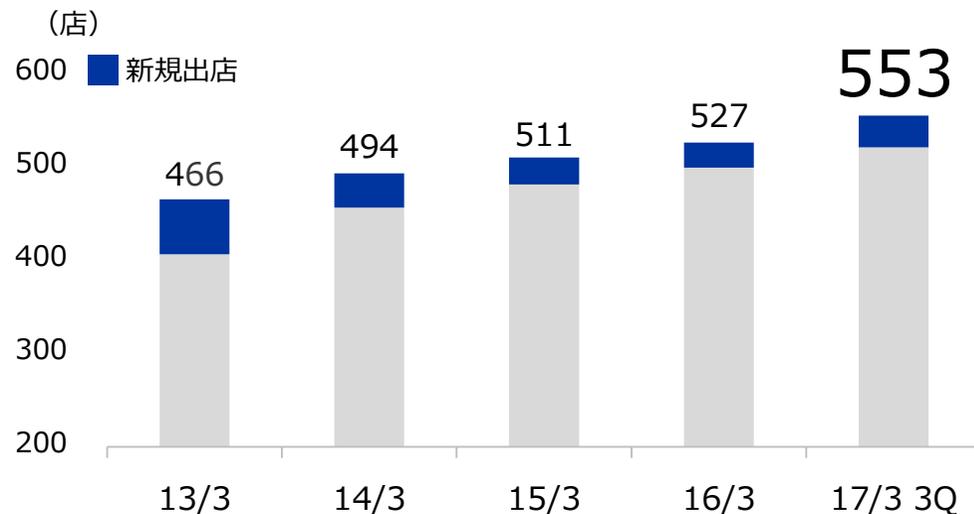
- ・ 調剤売上のみ（OTC等含まず）、発生ベース（返戻再請求を反映せず）。
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております。
- ・ 店舗数には物販専業の1店舗を含んでおりません。

## ◆第3四半期出店・閉店数

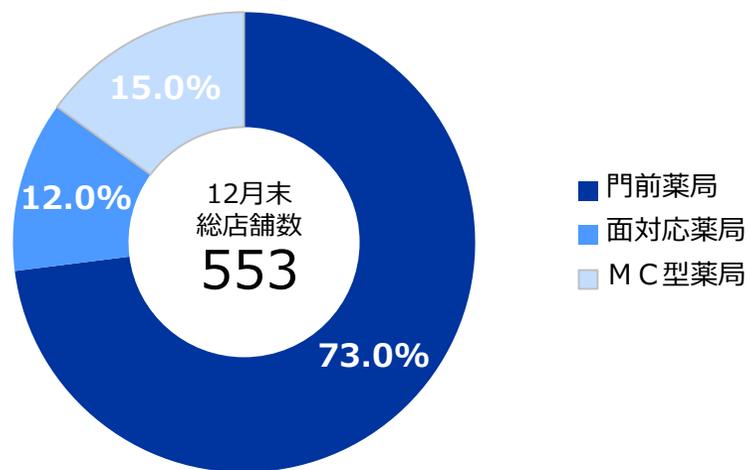
出店数	34
閉店数	8
<b>総店舗数（12月末）</b>	<b>553</b>

※物販専門の1店舗を含む

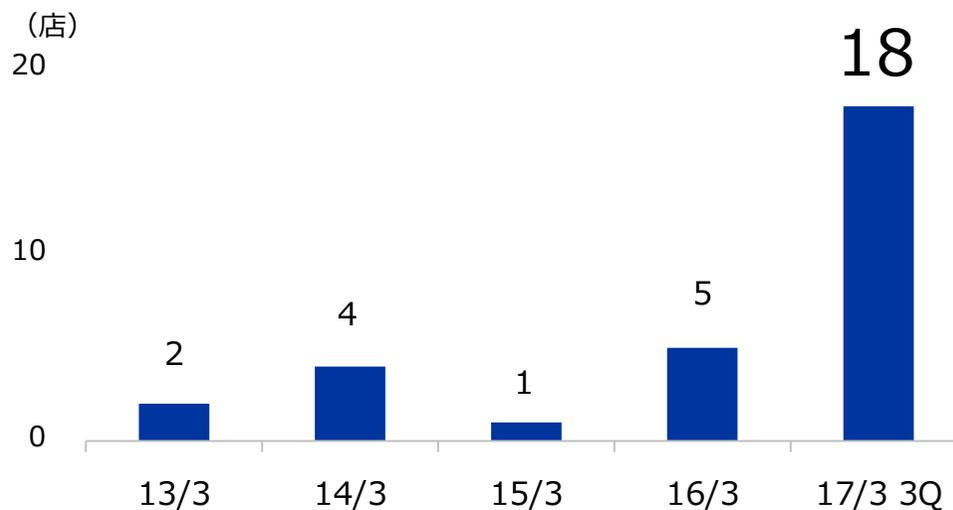
## ◆各期末店舗数の推移



## ◆タイプ別店舗構成



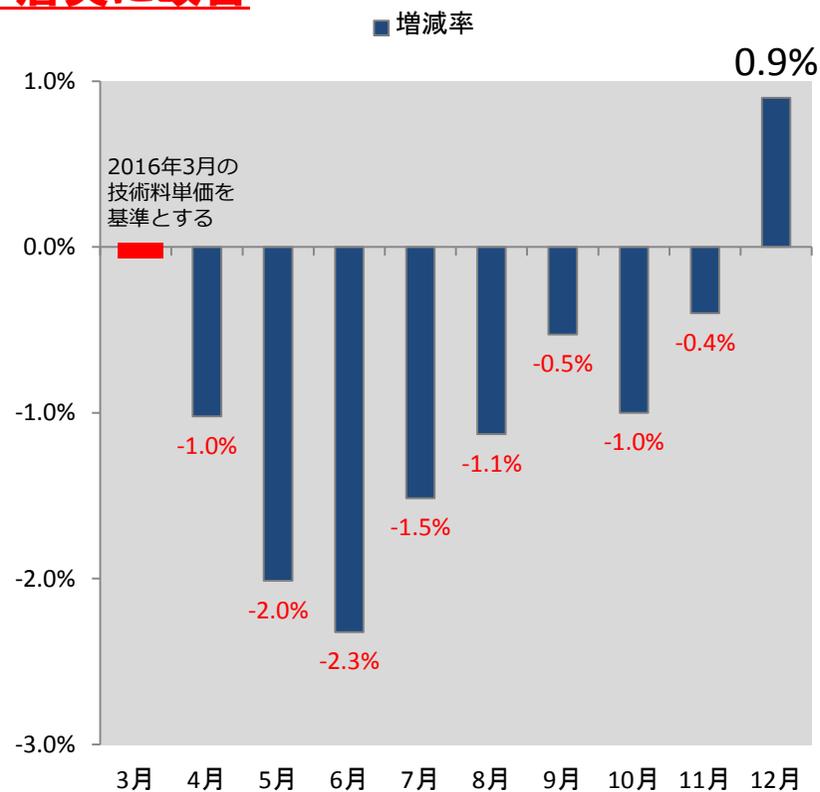
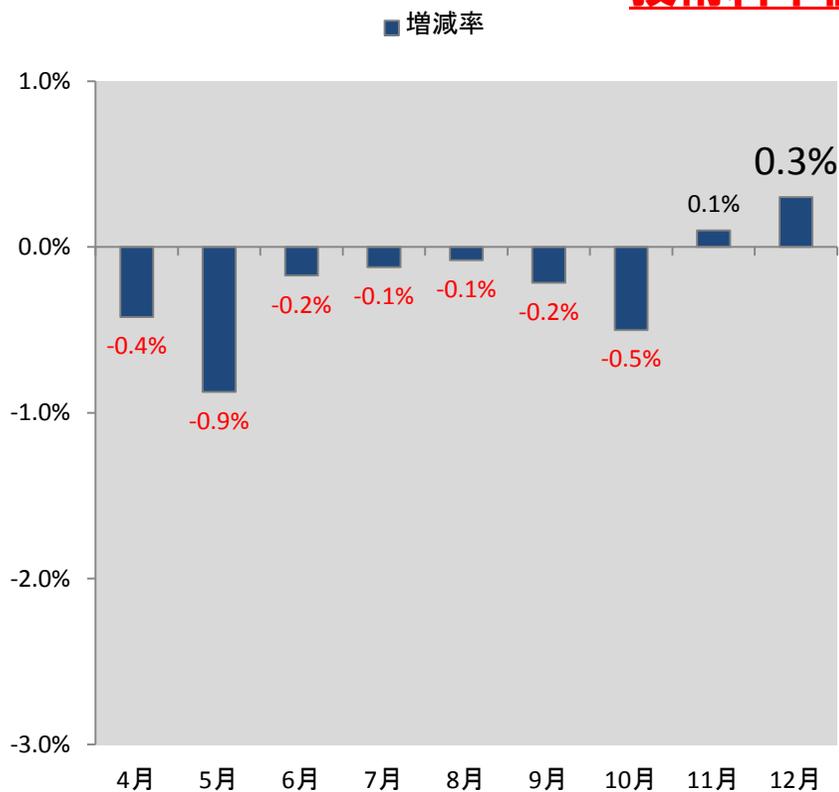
## ◆M&A店舗数の推移



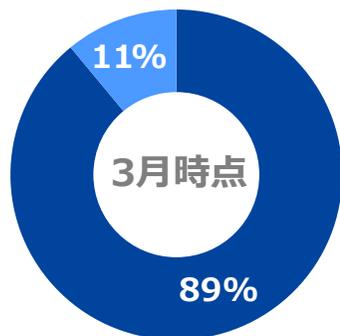
【前年同月比増減推移】

【3月末比増減推移】

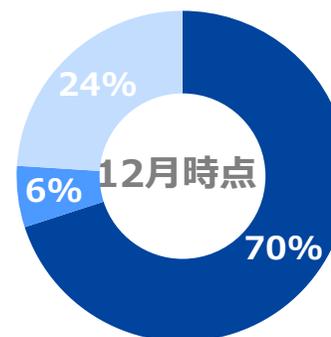
## 技術料単価が着実に改善



## 調剤基本料

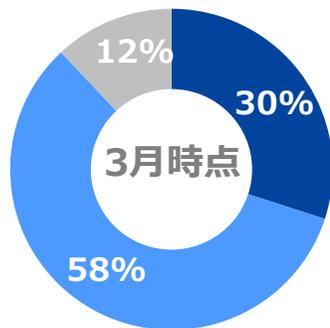


- 基本料1 (41点)
- 基本料2 (25点)

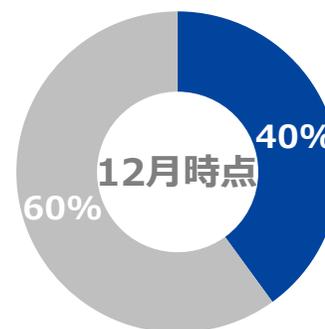


- 基本料1 (41点)
- 基本料2 (25点)
- 基本料3 (20点)

## 基準調剤加算

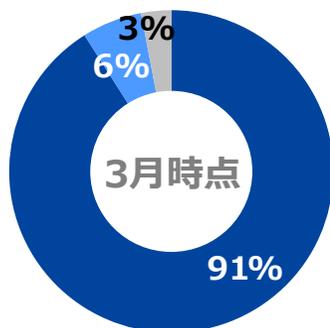


- 加算2 (36点)
- 加算1 (12点)
- 加算なし

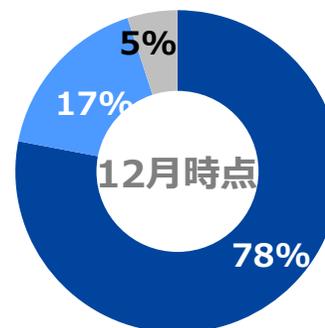


- 加算あり (32点)
- 加算なし

## 後発体制加算



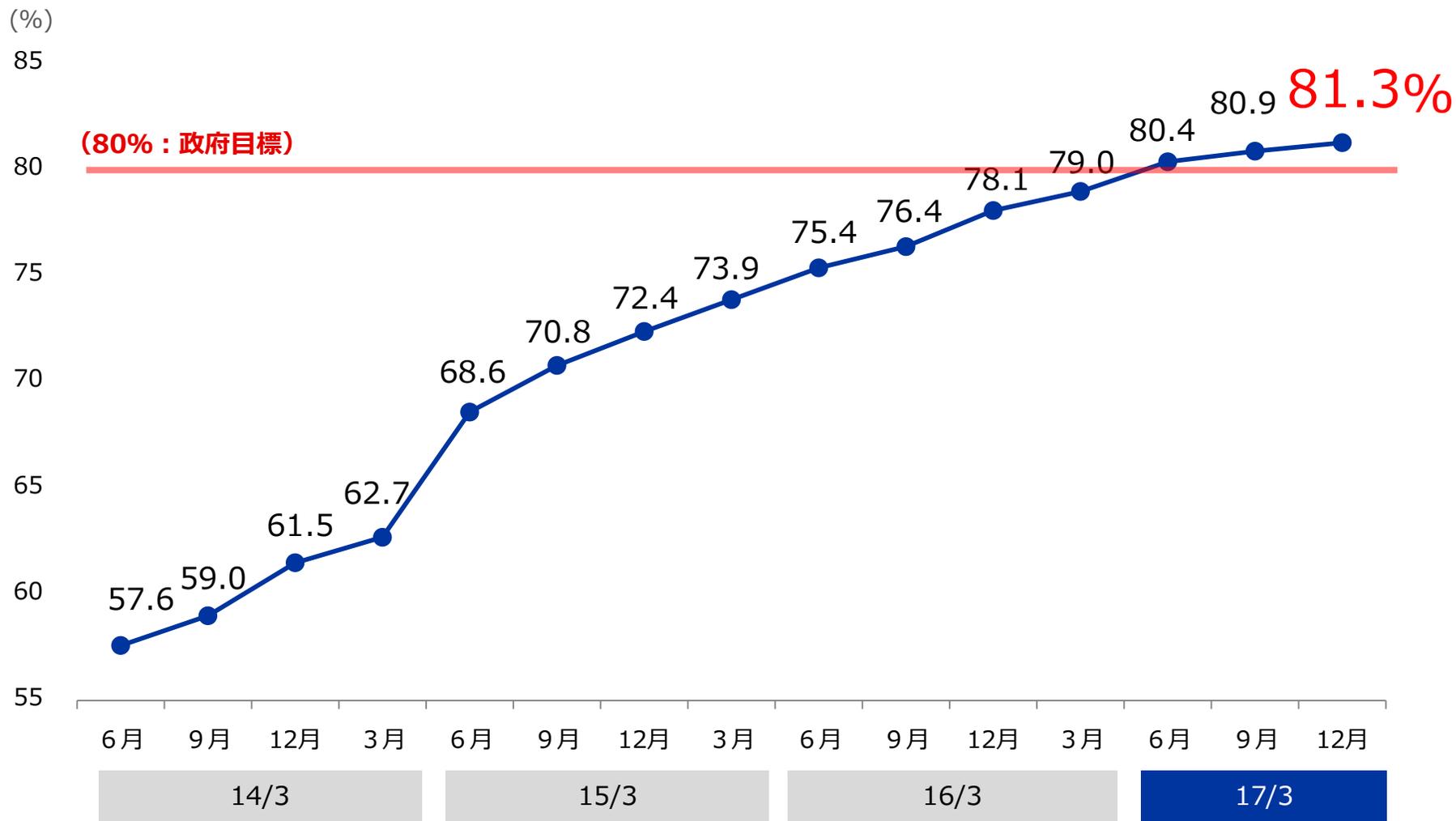
- 加算2 (65%以上/22点)
- 加算1 (55%以上/18点)
- 加算なし (55%未満)

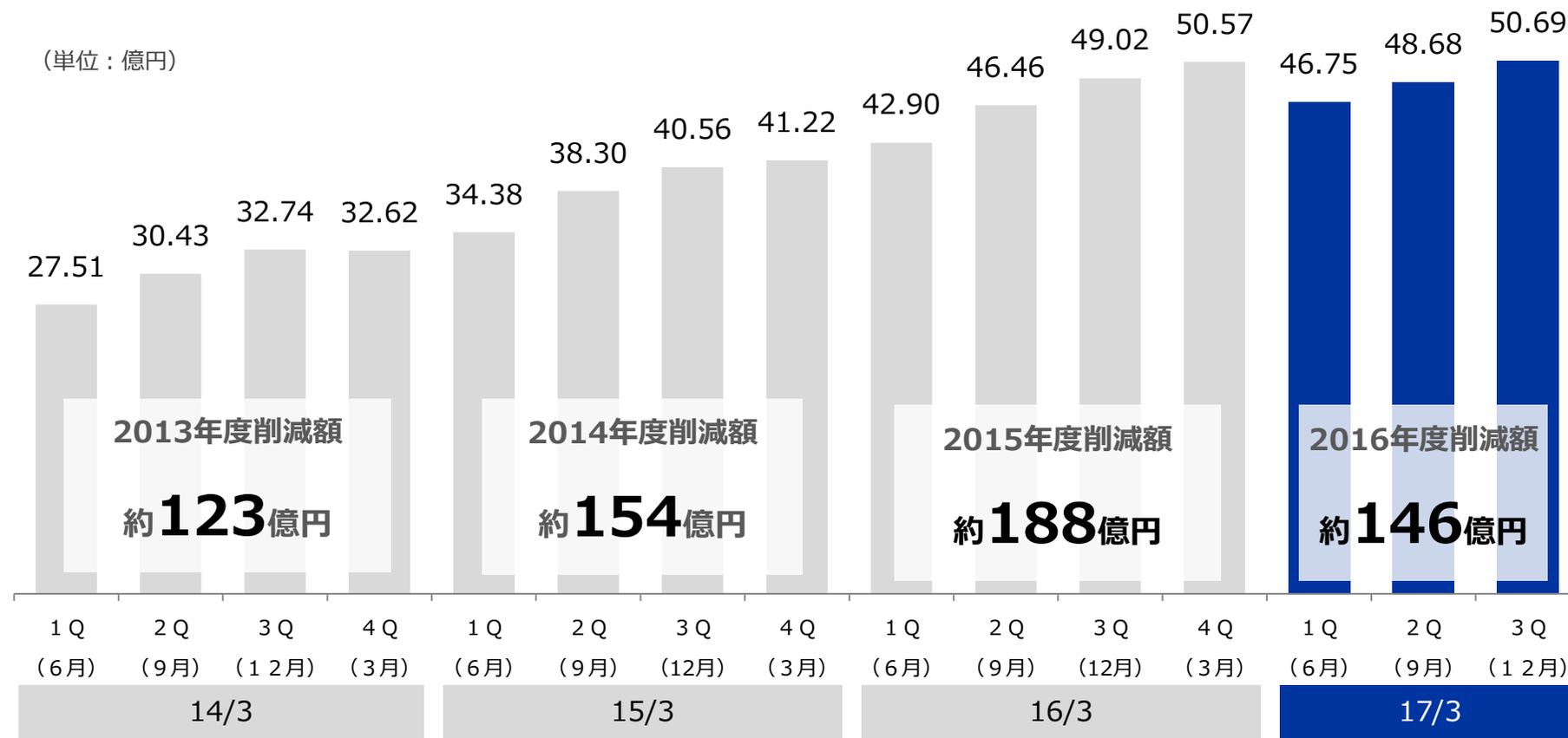


- 加算2 (75%以上/22点)
- 加算1 (65%以上/18点)
- 加算なし (55%未満)

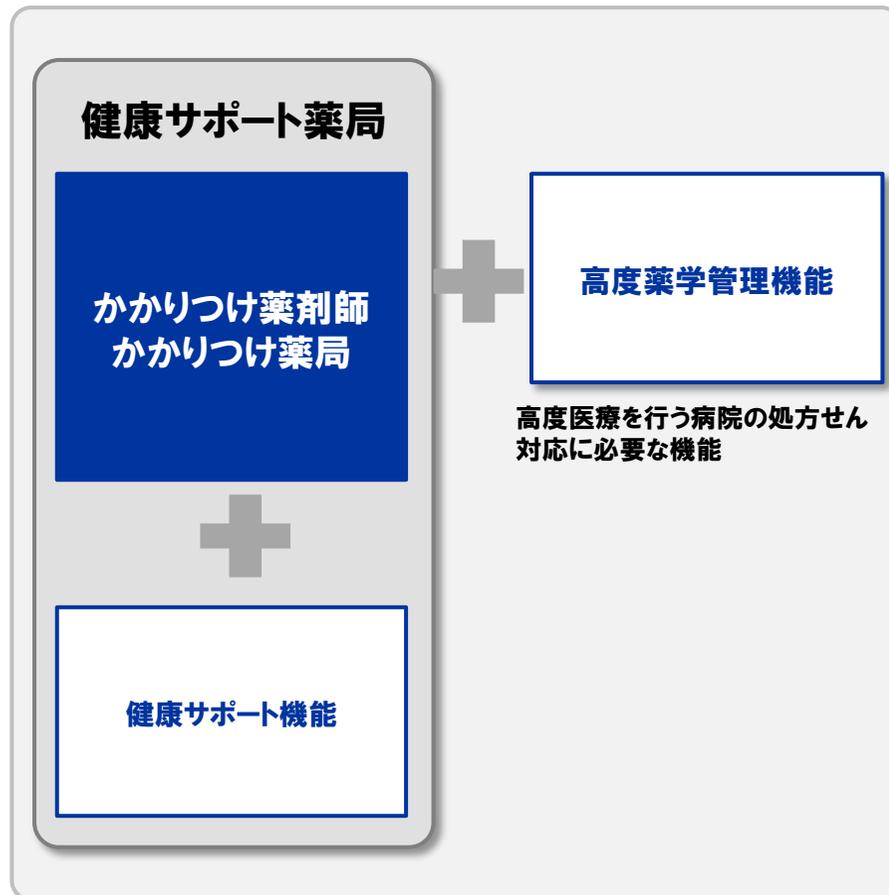
※新規店舗を含む全店舗を対象としております。

◆ ジェネリック医薬品使用率（数量ベース） 全社平均



◆ ジェネリック医薬品への変更による削減額

## 「患者のための薬局ビジョン」



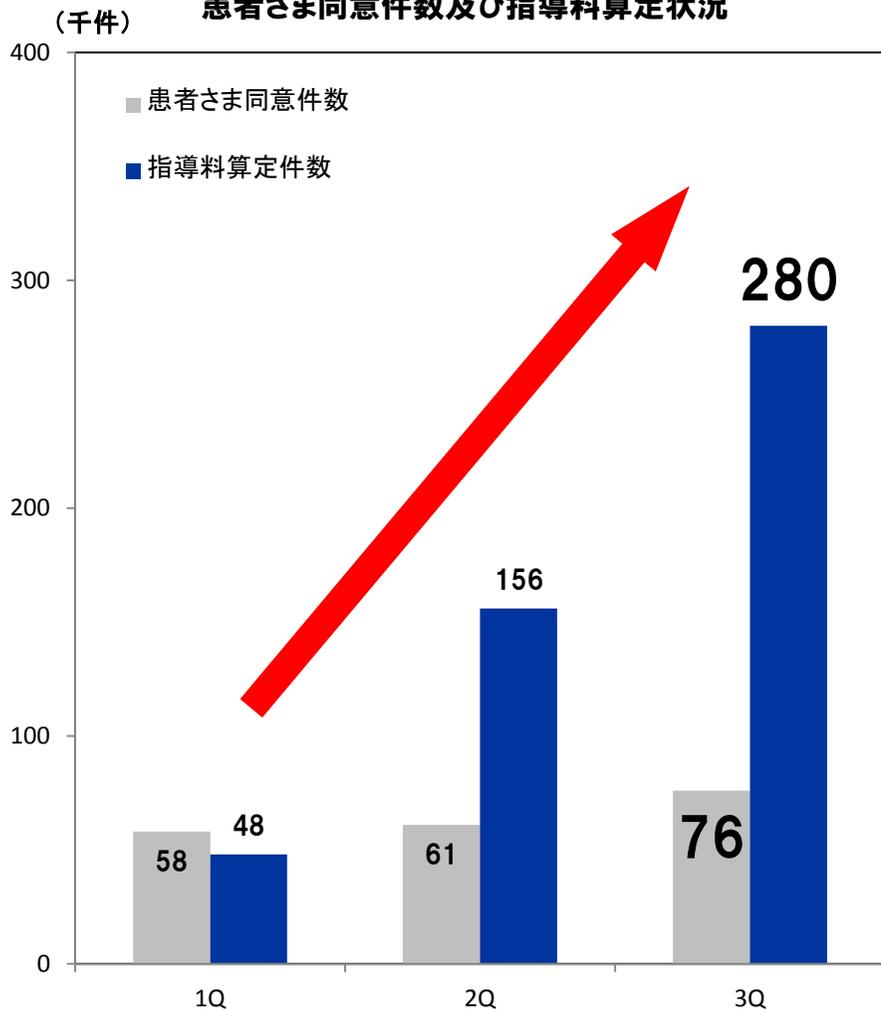
2025年までに全ての  
薬局をかかりつけ薬局へ

かかりつけ薬局をベースに  
健康サポート機能・高度薬  
学管理機能を付加

かかりつけ薬剤師・薬局は、3つの機能を有する

- ①医療機関との連携
- ②服薬情報の一元的・継続的把握
- ③24時間対応・在宅医療

かかりつけ薬剤師に関する  
患者さま同意件数及び指導料算定状況



※単位未満を四捨五入

## 第3四半期累計実績

患者さま同意件数

約20万件

指導料算定件数

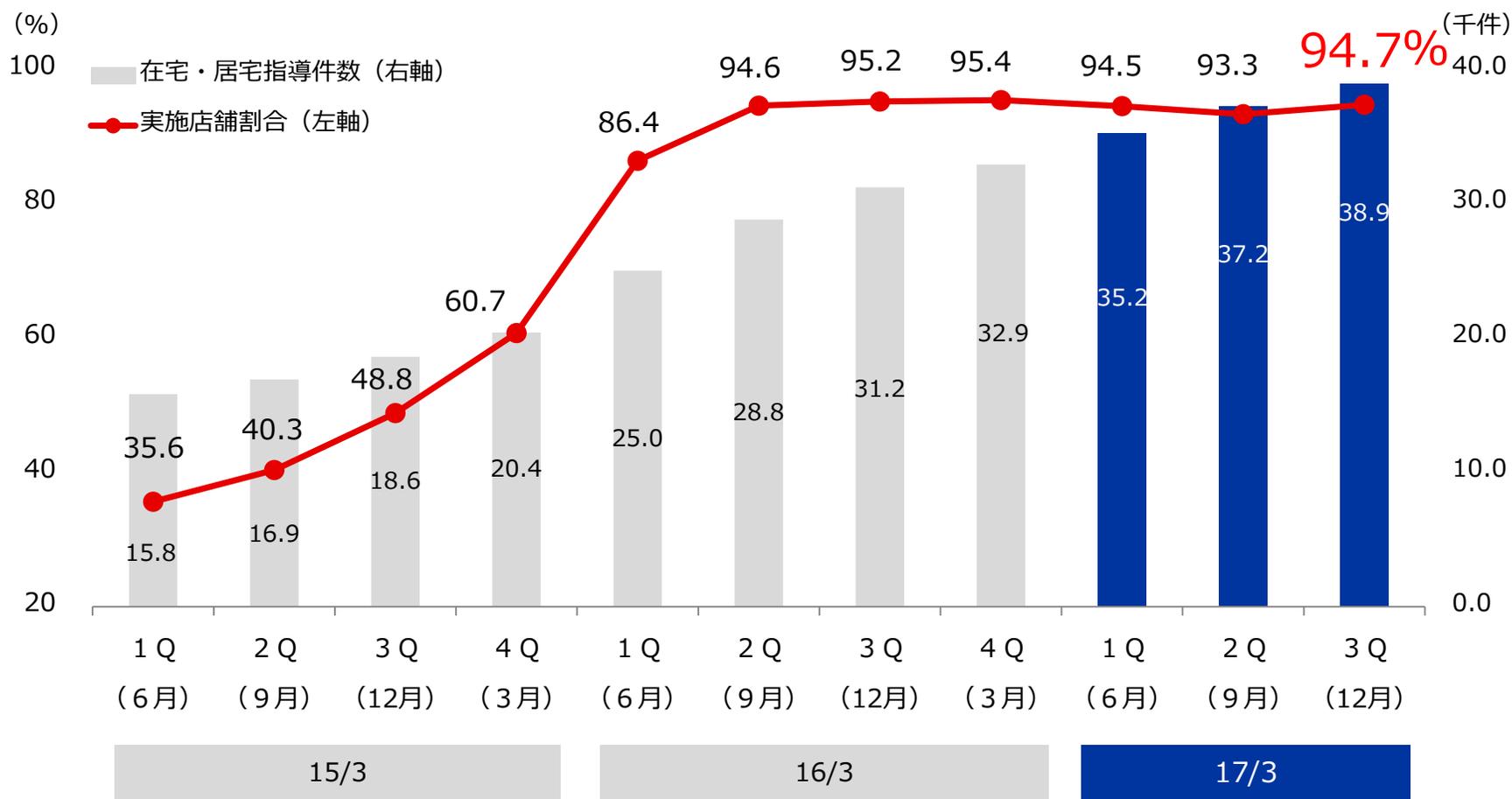
48万件超

基本料特例解除店舗

5店舗

※1月:6店舗追加解除済

◆在宅指導算定件数と実施店舗割合



※在宅実施店舗割合は期末時点での実績 (直近12ヶ月に実績のある店舗)

◆ 健康サポート機能を持つ薬局店舗を拡大



**先行 3 薬局**

- 日本調剤 麻布十番薬局（東京都）
- 日本調剤 銀座泰明薬局（東京都）
- 日本調剤 藤沢薬局（神奈川県）

**「健康チェックステーション」**

- ①健康保持・増進に関する相談専用ブース
- ②血液分析機器を常設した検体測定室
- ③血圧計等の各種測定機器の設置
- ④OTC(一般用医薬品)や健康食品

**健康サポート**

かかりつけ薬剤師・薬局が、地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援すること

**全国の店舗へ拡大**

**（中期的には150店舗を展開予定）**

◆ 東京大学大学院医学系研究科と共同研究を開始

**3要素を組み合わせることによる効果の検証  
新世代の薬局づくりのための取り組みを加速**



## ※GlucoNote

- ・東京大学大学院医学系研究科 健康空間情報学講座が開発
- ・2型糖尿病及び糖尿病予備群の方が対象
- ・食事・運動・血糖値などの記録ができる自己管理支援アプリ

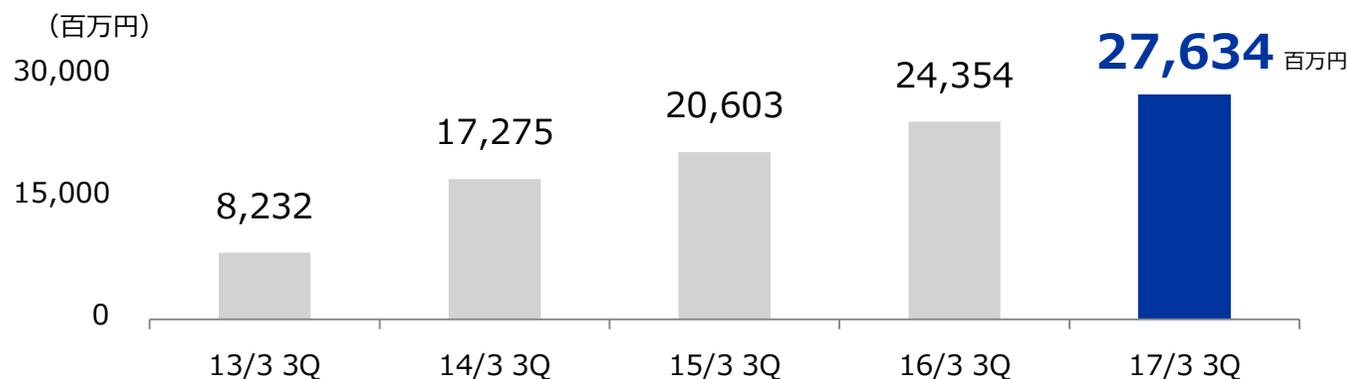
## ※お薬手帳プラス

- ・日本調剤が独自開発した電子お薬手帳アプリ
- ・薬を服用されている方（当社利用に関係なく）が対象
- ・お薬の管理や各種健康管理ができる服薬支援アプリ

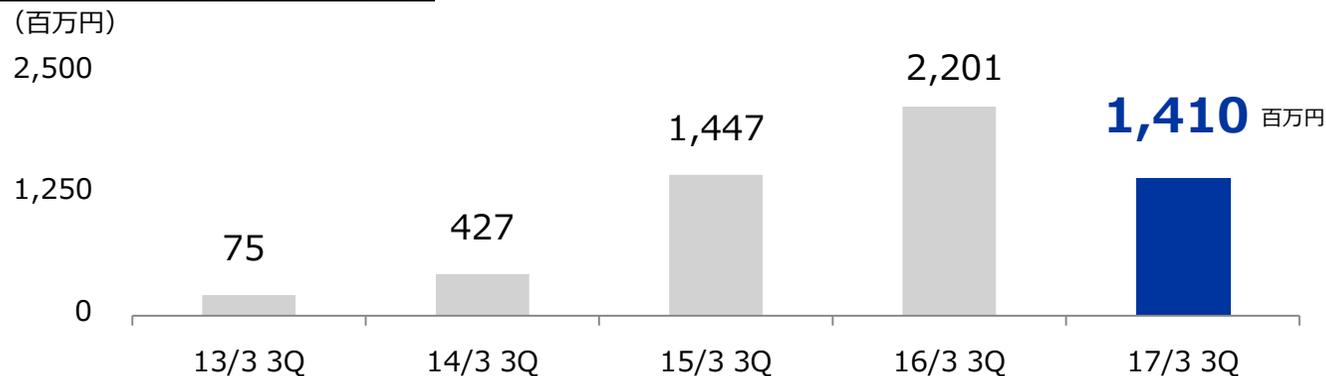
(単位：百万円)	14/4-14/12	15/4-15/12	16/4-16/12	増減額	増減率
売上高	20,603	24,354	<b>27,634</b>	3,280	13.5%
営業利益	1,447	2,201	<b>1,410</b>	△790	△35.9%
対売上比 (%)	7.0%	9.0%	5.1%	—	—

※セグメント間取引消去前

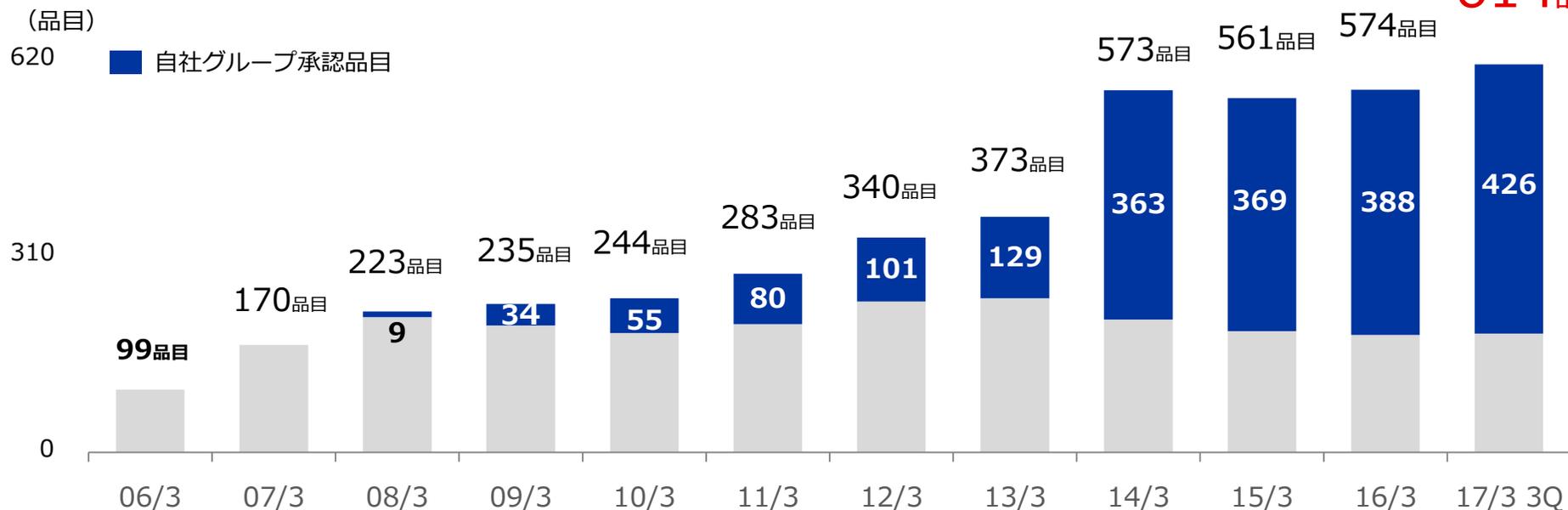
## ◆セグメント別売上高の推移



## ◆セグメント別営業利益の推移



### ◆販売品目数の推移



### ◆16年6月薬価基準収載品

名称	名称	名称	名称
エンタカボン錠 100mg「JG」	オランザピンOD錠 10mg「JG」	ロピニロール錠 2mg「JG」	セルトラリン錠 100mg「JG」
オランザピン錠 2.5mg「JG」	ポリコナゾール錠 50mg「JG」	カルボシステイン錠 250mg「JG」	チモロールXE点眼液 0.25%「JG」
オランザピン錠 5mg「JG」	ポリコナゾール錠 100mg「JG」	カルボシステイン錠 500mg「JG」	チモロールXE点眼液 0.5%「JG」
オランザピン錠 10mg「JG」	ポリコナゾール錠 200mg「JG」	カルベジロール錠 1.25mg「JG」	ヒアルロン酸Na点眼液 0.1%「JG」
オランザピンOD錠 2.5mg「JG」	ロピニロール錠 0.25mg「JG」	カルベジロール錠 2.5mg「JG」	ヒアルロン酸Na点眼液 0.3%「JG」
オランザピンOD錠 5mg「JG」	ロピニロール錠 1mg「JG」	シルニジピン錠 20mg「JG」	レボパラスチン点眼液 0.025%「JG」

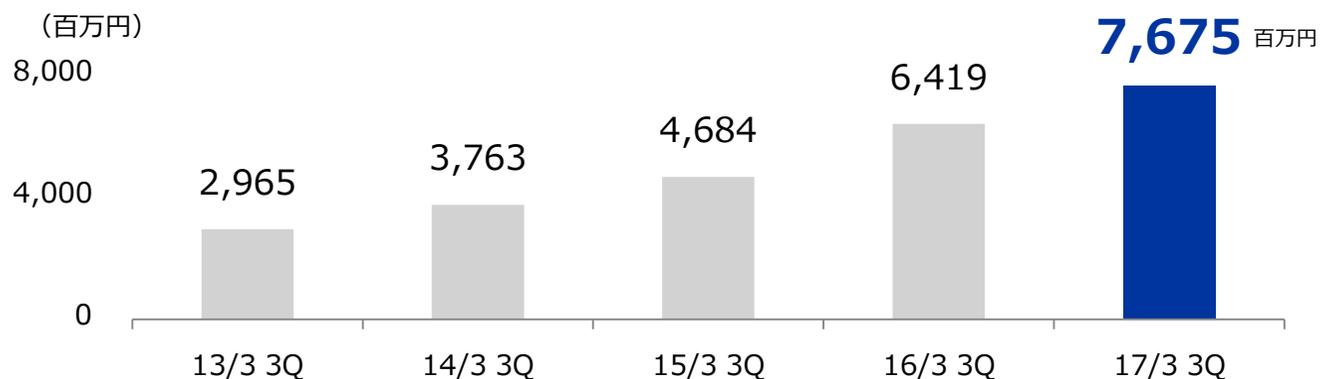
### ◆16年12月薬価基準収載品

名称	名称
ミチグリニドCa・OD錠 5mg「JG」	バルヒディオ配合錠MD 「JG」
ミチグリニドCa・OD錠 10mg「JG」	バルヒディオ配合錠EX 「JG」
プラミペキソール塩酸塩LA錠 0.375mgMI「JG」	ピタバスタチンCa・OD錠 1mg「JG」
プラミペキソール塩酸塩LA錠 1.5mgMI「JG」	ピタバスタチンCa・OD錠 2mg「JG」
ボセンタン錠 62.5mg「JG」	ピタバスタチンCa・OD錠 4mg「JG」
ポラプレジングOD錠 75mg「JG」	マキサカルシトール軟膏 25µg/g「CH」

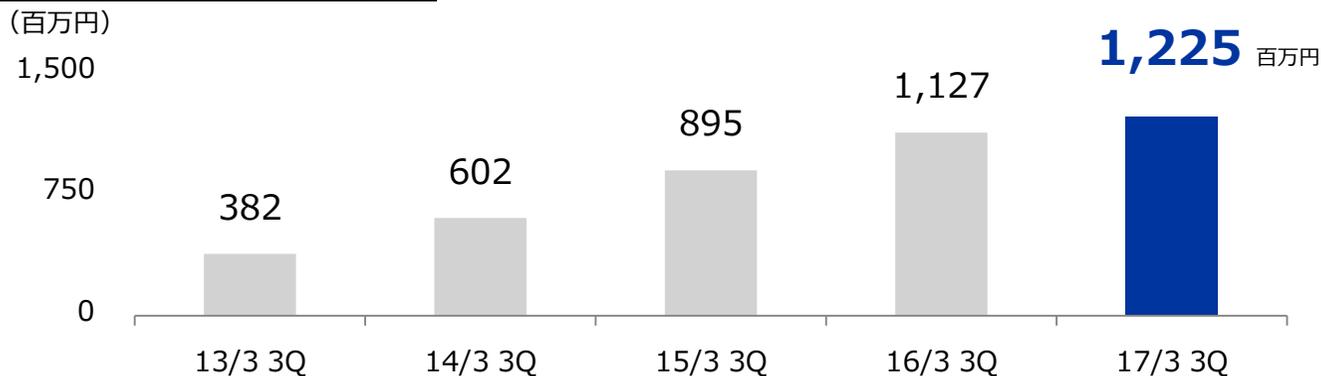
(単位：百万円)	14/4-14/12	15/4-15/12	16/4-16/12	増減額	増減率
売上高	4,684	6,419	<b>7,675</b>	1,255	19.6%
営業利益	895	1,127	<b>1,225</b>	98	8.7%
対売上比 (%)	19.1%	17.6%	16.0%	—	—

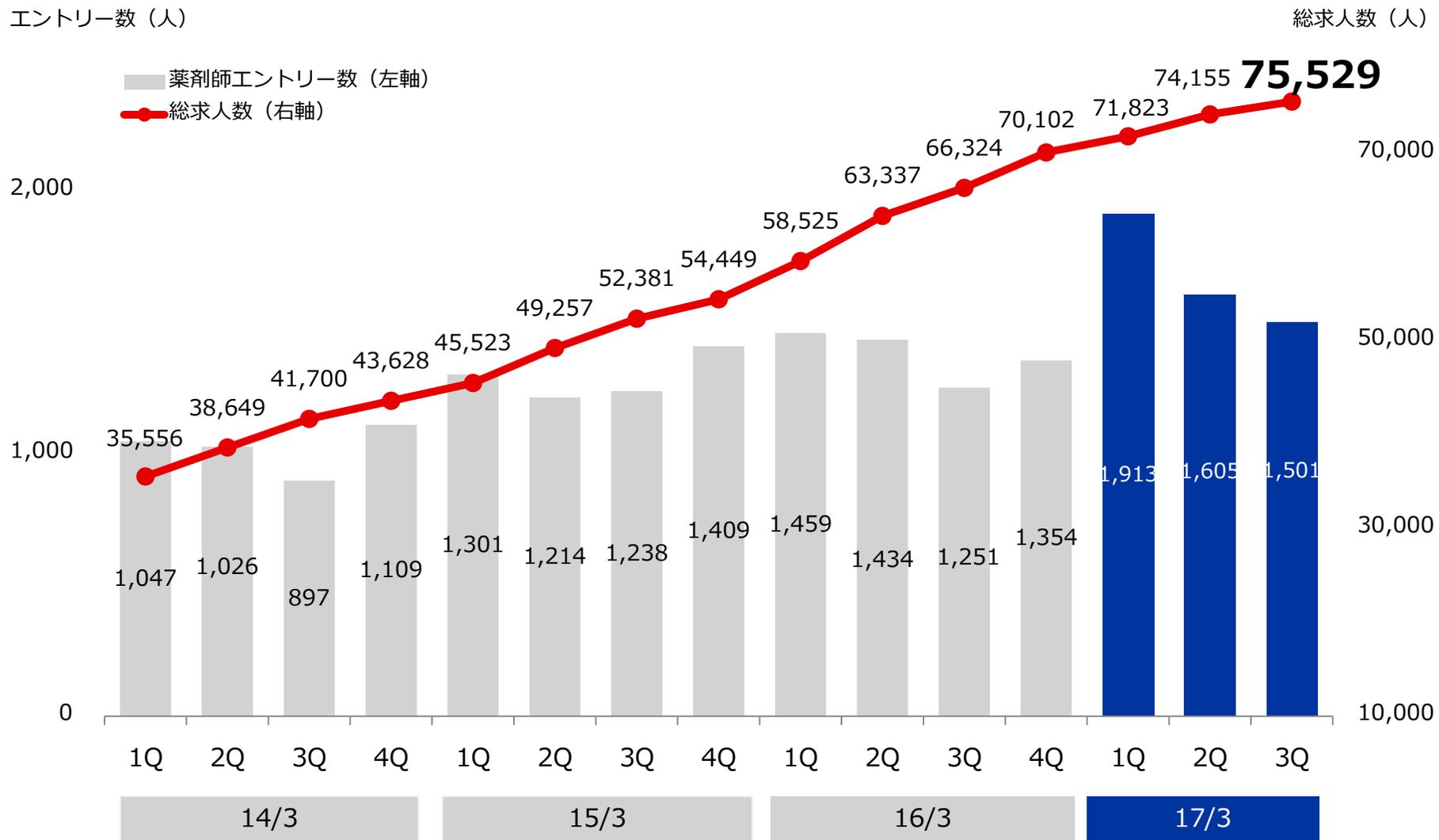
※セグメント間取引消去前

## ◆セグメント別売上高の推移



## ◆セグメント別営業利益の推移





## ◆連結業績予想を修正

(単位：百万円)	前期実績	2016/4/28 期初予想	2017/1/31 今回修正予想
売上高	219,239	240,013	<b>222,888</b>
営業利益	10,489	11,165	<b>7,985</b>
対売上比 (%)	4.8%	4.7%	3.6%
経常利益	9,878	10,778	<b>7,907</b>
親会社株式に帰属する 当期純利益	6,329	6,642	<b>4,347</b>

※ 詳細につきましては、2017年1月31日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注意事項

本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のために作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。